

オニト交配

KOFUKI
こふき

おいしさホクホク
玉肥大良し

超粉質

高糖度

多収性



こふき かぼちゃ

KOFUKI

百聞は一作にしかず / 高粉質・多収量

栽培の要点

特 性

① 黒緑皮で高粉質の南瓜

高粉質系の中でも特に粉質が高く、また、ホクホクさだけでなく甘味が強い高品質の南瓜です。
外観の斑色が濃いため、黒く見える外皮は高級感がある。

② 玉揃いが良い

果実の肥大が良く、1.8Kg内外で良く揃うので、5~6玉(ケース)率が高い。また、極めて着果が安定している。

③ ウドンコ病にかかりにくい

草勢が強めであり、葉は大きくツルも太く粘り強い。収穫までツル持ちが良くウドンコ病にかかりはするが広がりにくく、葉が最後まで持ちやすい。



栽培のポイント

1.播種 種皮が厚いため過湿に注意し、土壌水分を低くすると発芽が揃う。

2.育苗 定植前には最低気温8~10℃、日中晴天日の最高気温は30℃内外とし、節間の短い苗を作ると雌花着生が多い。

3.定植 定植位置には十分な水分を確保し、定植時の地温は15~16℃を目安とする。株間は広めにとることで着果の安定と大果をめざす。

4.整枝 親ヅルは4~5枚で摘芯、子ヅルの長さが30cm位になったら2~3本に整理する。ツルを整頓することで一斉に着果させ、収穫果の品質を揃える。

5.着果 子ヅルの10~15節位から着果させ、低節位の変形果の多い着果を防ぐ。株元から手の届く範囲の雌花を整枝時に一緒にとればよい。

6.収穫 収穫の目安は開花後43日頃であるが、天候や作型により前後するので、地面に接している部分が橙色になればほぼ完熟している。また、シート等で判別しにくいときには、果梗のコルク化程度(一周回って硬化したら)によって判断する。

栽培適期表

栽培型	月											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
トンネル1	○	●	●	●	●	●	●					
トンネル2		○	●	●	●	●	●					
大型キャップ			○	●	●	●	●	●				
抑制裁培							○	●	●	●	●	●